

# 富山市立黒瀬谷公民館

## ◆事業の目的

竹はんごう・身近で自然な植物がちょっと手を加えるだけで、りっぱな調理器具となる。使い方を学べば刃物はとても便利な道具である。

そば・土壌を選ばず、成長が早く、昔から食されてきたそばを栽培し、収穫して、麺にするまでの一連の作業を体験する事で土と触れ合い、自然との関わりを五感で感じる事が出来る。

## ◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
7月31日(日)	竹はんごうとソバの種まき	黒瀬谷公民館	31名
10月10日(祝・月)	ソバ刈りとサツマイモを使ったスイーツづくり	黒瀬谷公民館	32名
12月11日(日)	クリスマスグッズ作りとソバ打ち体験	黒瀬谷公民館	22名

## ◆事業の様子

### ☆ 竹はんごうとソバの種まき

もうそう竹をノコギリ・ノミなど使って切る時、親子や、友だち同士で転がらないように押さえ合ったり、道具(ノコギリ・ノミ・キリ・トンカチ)を順番に使いあう姿が見られた。竹はんごうの中に水とうるち米を入れ、運ぶ時、「そうっと、運ばれ」と子ども同士で声を掛け合い、道を譲りあっていた。

畑にソバを蒔く時、ズックが汚れるから裸足で土の上を歩く子らがあった。「足の裏に石が当たると痛いけど土の感触はとても気持ちがいい。」と、初めての経験だったらしい。

### ☆ ソバ刈りとサツマイモを使ったスイーツづくり

ソバ刈りというより、ソバを引き抜く作業だった。雑草とソバを上手に見極めていた。

サツマイモを包丁で切った事がない子がほとんどで、「サツマイモはなんて固いんだ」といいながら力を込めてノコギリのような扱いをしていた。

### ☆ クリスマスグッズ作りとソバ打ち体験

用意されたリースに同じ飾りを貼り付けるだけなのに、1個1個表情があって、どの子も自分なりの工夫があった。

ソバ粉と水を混ぜる事がこんなに力が必要で、時間がかかるとは思わなかったらしい。「麺にするために、こんなに何回もめん棒を押ししたり、引いたりしなくては出来ないのか」と講師に聞いていた。ソバを茹でる鍋の近くまで来て、まな板が重いのか、力つきたのか、床に麺を全部落とした子がいた。すぐに拾ったが、麺が切れ切れになり、半ベソ状態だったが、「とても食べやすくおいしい」と笑顔を見せてくれた。

## ◆事業の成果と課題

成果・竹はんごう作りを何回か体験している子らは、ノコギリ等の扱いが上手だった。自然の中に身を置くと子ども、大人はとても素直な気持ちになり、仲間のような絆が生まれ、子ども達の視野が広がったと思う。

課題・事業に人を呼びたくて、抱き合わせたから時間をオーバーし、皆に忙しい思いをさせてしまった。余裕をもてば良かった。

